

**医療分野で活躍する薬剤師をめざす**

想定される具体的な進路・職種	病院薬剤師、薬局薬剤師など
----------------	---------------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能だけでなく、豊かな人間性と倫理観を身に付け、高度な専門知識や臨床技能を有する薬剤師や、特定の分野に深い専門性を有する薬剤師をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目   ●：選択必修科目   ●：必修科目

区分		授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教養教育部門	基軸科目	●人間と環境					
	教養教育科目	●情報活用リテラシー ●心の科学 ●経営と社会 ●法と社会 ●数と論理 ●ジェンダーと社会 ●教養演習Ⅰ ●教養演習Ⅱ					
	語学科目	●英語中級Ⅰ（リーディング） ●英語中級Ⅰ（コミュニケーション） ●英語中級Ⅱ（リーディング） ●英語中級Ⅱ（コミュニケーション）					
	薬学準備教育科目	●基礎物理 ●基礎化学 ●基礎生物 ●薬剤師の使命Ⅰ ●薬剤師の使命Ⅱ ●薬学概論Ⅰ ●薬学概論Ⅱ ●コミュニケーション基礎 ●入門実験 ●キャリア形成					
	健康・スポーツ科学科目	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ ●健康・スポーツ科学理論					
専門薬学教育部門	基幹科目	●物理科学Ⅰ ●基礎有機化学  ●機能形態学Ⅰ  ●機能形態学Ⅱ ●生化学Ⅰ ●生化学Ⅱ	●物理化学Ⅱ ●有機薬学Ⅰ  ●有機薬学Ⅱ  ●生化学Ⅲ ●機能形態学Ⅲ ●薬学英語Ⅰ ●医薬資源化学 ●構造解析学 ●微生物学 ●分子生物学Ⅰ ●分子生物学Ⅱ ●薬局方試験法 ●薬物動態学Ⅰ ●社会保障と医療経済 ●薬の作用 ●免疫学 ●製剤学Ⅰ  ●分析化学  ●薬用植物と生薬 ●身体変化のメカニズム ●異常値のメカニズム ●環境科学 ●臨床心理・倫理学	●有機薬学Ⅲ ●薬学英語Ⅱ  ●製剤学Ⅱ  ●医薬品情報学 ●生物有機化学 ●製剤学Ⅱ ●医薬品情報学 ●薬物動態学Ⅱ ●生物有機化学 ●製剤開発論 ●感染予防学 ●製剤設計学 ●公衆衛生学 ●医療法規 ●衛生化学Ⅰ ●衛生化学Ⅱ ●栄養学 ●臨床コミュニケーション ●薬理・病態Ⅰ  ●薬理・病態Ⅱ  ●薬理・病態Ⅲ ●薬理・病態Ⅳ ●薬理・病態Ⅴ ●薬理・病態Ⅵ	●薬物投与設計 ●和漢医薬学 ●セルフメディケーション・医療統計 ●化学療法・緩和医療 ●放射科学		

	実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学系基礎実習</li> <li>●生物系基礎実習</li> <li>●化学系応用実習</li> <li>●分析系基礎実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物系応用実習</li> <li>●物理系基礎実習</li> <li>●物理系応用実習</li> <li>●分析系応用実習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬局実務実習</li> <li>●病院実務実習</li> </ul>	
	アドバンスト演習科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎化学演習</li> <li>●基礎生物演習</li> <li>●機能形態学Ⅰ演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習 1</li> <li>●応用演習 2</li> <li>●応用演習 3</li> <li>●応用演習 4</li> <li>●応用演習 5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習10</li> <li>●応用演習11</li> <li>●応用演習14</li> <li>●応用演習15</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習18</li> <li>●応用演習19</li> <li>●応用演習20</li> </ul>		
統合型薬学教育部門						<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物治療マネジメント</li> <li>●基礎薬学総論</li> <li>●実務実習事前講義・演習</li> </ul>	●薬学特別講義
薬学アドバンスト教育部門	実践薬学科目					<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療を知る</li> <li>●セルフケア・介護</li> <li>●臨床薬局学Ⅱ</li> <li>●救命救急・院内感</li> <li>●染予防</li> <li>●医薬品開発論</li> <li>●臨床栄養療法学</li> <li>●発展キャリア形成2（化学系）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療の最前線</li> <li>●薬剤師の専門性</li> </ul>
	薬学研究科目				●薬学卒業研究基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅰ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅱ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅱ</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

**製薬分野で活躍する薬剤師をめざす**

想定される具体的な進路・職種	学術部門、医薬情報担当者 (MR) など
----------------	-------------------------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。医療関係者や患者に迅速かつ正確にそのニーズに応じて専門化された医薬品情報を提供する薬剤師や、医薬品の有効性および安全性に関する情報を医療の現場から収集する薬剤師をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目   ●：選択必修科目   ●：必修科目

区分		授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教養教育部門	基軸科目	●人間と環境 ●情報活用リテラシー					
	教養教育科目	●心の科学 ●経営と社会 ●法と社会 ●数と論理 ●ジェンダーと社会 ●データサイエンス ●AI入門 ●教養演習Ⅰ ●教養演習Ⅱ					
	語学科目	●英語中級Ⅰ（リーディング） ●英語中級Ⅰ（コミュニケーション） ●英語中級Ⅱ（リーディング） ●英語中級Ⅱ（コミュニケーション）					
	薬学準備教育科目	●基礎物理 ●基礎化学 ●基礎生物 ●薬剤師の使命Ⅰ ●薬剤師の使命Ⅱ ●薬学概論Ⅰ ●薬学概論Ⅱ ●コミュニケーション基礎 ●入門実験 ●キャリア形成					
	健康・スポーツ科学科目	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ					
専門薬学教育部門	基幹科目	●物理科学Ⅰ ●基礎有機化学  ●機能形態学Ⅰ  ●機能形態学Ⅱ ●生化学Ⅰ ●生化学Ⅱ	●物理化学Ⅱ ●有機薬化学Ⅰ  ●有機薬化学Ⅱ  ●生化学Ⅲ ●機能形態学Ⅲ ●薬学英語Ⅰ ●医薬資源化学 ●構造解析学 ●微生物学 ●分子生物学Ⅰ ●分子生物学Ⅱ ●薬局方試験法 ●薬物動態学Ⅰ ●社会保障と医療経済 ●薬の作用 ●免疫学 ●製剤学Ⅰ ●分析化学 ●薬用植物と生薬 ●天然物の分離と分析 ●異常値のメカニズム	●有機薬化学Ⅲ ●薬学英語Ⅱ  ●製剤学Ⅱ  ●医薬品情報学 ●生物有機化学 ●製剤学Ⅱ ●医薬品情報学 ●薬物動態学Ⅱ ●生物有機化学 ●製剤開発論 ●感染予防学 ●製剤設計学 ●公衆衛生学  ●医療法規  ●衛生化学Ⅰ ●衛生化学Ⅱ ●栄養学 ●臨床コミュニケーション ●製剤学 ●薬理・病態Ⅰ  ●薬理・病態Ⅱ	●薬物投与設計 ●和漢医薬学 ●ヒルソクステイ ●ケース・医療統計 ●分子標的薬 ●放射科学		

			<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境科学</li> <li>●臨床心理・倫理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬理・病態Ⅲ</li> <li>●薬理・病態Ⅳ</li> <li>●薬理・病態Ⅴ</li> <li>●薬理・病態Ⅵ</li> </ul>			
	実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学系基礎実習</li> <li>●生物系基礎実習</li> <li>●化学系応用実習</li> <li>●分析系基礎実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物系応用実</li> <li>●物理系基礎実</li> <li>●物理系応用実</li> <li>●分析系応用実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬局実務実習</li> <li>●病院実務実習</li> </ul>	
	アドバンスト演習科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎化学演習</li> <li>●基礎生物演習</li> <li>●機能形態学Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習Ⅰ</li> <li>●応用演習Ⅱ</li> <li>●応用演習Ⅲ</li> <li>●応用演習Ⅳ</li> <li>●応用演習Ⅴ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習Ⅹ</li> <li>●応用演習Ⅺ</li> <li>●応用演習Ⅻ</li> <li>●応用演習Ⅼ</li> <li>●応用演習Ⅽ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習ⅱ</li> <li>●応用演習ⅲ</li> <li>●応用演習ⅴ</li> </ul>		
統合型薬学教育部門						<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物治療マネジメント</li> <li>●基礎薬学総論</li> <li>●実務実習事前講義・演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学特別講義</li> </ul>
薬学アドバンスト教育部門	実践薬学科目					<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療を知る</li> <li>●セルフケア・介護</li> <li>●臨床薬局学Ⅱ</li> <li>●救命救急・院内感染予防</li> <li>●医薬品開発論</li> <li>●臨床栄養療法</li> <li>●発展キャリア形成Ⅱ（化学系）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療の最前線</li> <li>●薬剤師の専門性</li> </ul>
	薬学研究科目				●薬学卒業研究基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅰ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅱ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅱ</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

**医薬品開発受託、治験支援業種分野で活躍する薬剤師をめざす**

想定される具体的な進路・職種	臨床開発モニター（CRA）、治験コーディネーター
----------------	--------------------------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。製薬会社の要望に基づき臨床試験を企画、臨床試験のチェック、データの集計・解析業務を行う薬剤師（CRA）や、医療機関に向き医師と患者の間に立ち治験を調整・監視する薬剤師（CRC）をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目   ●：選択必修科目   ●：必修科目

区分		授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教養教育部門	基軸科目	●人間と環境					
	教養教育科目	●情報活用リテラシー ●心の科学 ●経営と社会 ●法と社会 ●数と論理 ●データサイエンス ●AI入門 ●教養演習Ⅰ ●教養演習Ⅱ					
	語学科目	●英語中級Ⅰ（リーディング） ●英語中級Ⅰ（コミュニケーション） ●英語中級Ⅱ（リーディング） ●英語中級Ⅱ（コミュニケーション）					
	薬学準備教育科目	●基礎物理 ●基礎化学 ●基礎生物 ●薬剤師の使命Ⅰ ●薬剤師の使命Ⅱ ●薬学概論Ⅰ ●薬学概論Ⅱ ●コミュニケーション ●入門実験 ●キャリア形成					
	健康・スポーツ科学科目	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ ●健康・スポーツ科学理論					
専門薬学教育部門	基幹科目	●物理科学Ⅰ ●基礎有機化学  ●機能形態学Ⅰ  ●機能形態学Ⅱ ●生化学Ⅰ ●生化学Ⅱ	●物理化学Ⅱ ●有機薬化学Ⅰ  ●有機薬化学Ⅱ  ●生化学Ⅲ ●機能形態学Ⅲ ●薬学英語Ⅰ ●医薬資源化学 ●構造解析学 ●微生物学 ●分子生物学Ⅰ ●分子生物学Ⅱ ●薬局方試験法 ●薬物動態学Ⅰ ●社会保障と医療経済 ●薬の作用 ●免疫学 ●製剤学Ⅰ ●分析化学 ●薬用植物化学 ●身体変化のメカニズム	●有機薬化学Ⅲ ●薬学英語Ⅱ  ●製剤学Ⅱ  ●医薬品情報学 ●生物有機化学 ●製剤学Ⅱ ●医薬品情報学 ●薬物動態学Ⅱ ●生物有機化学 ●製剤開発論 ●感染予防学 ●製剤設計学 ●公衆衛生学  ●医療法規  ●衛生化学Ⅰ ●衛生化学Ⅱ ●栄養学 ●臨床コミュニケーション ●薬剤学  ●薬理・病態Ⅰ	●薬物投与設計 ●和漢医薬学 ●シミュレーション・医療ケースーション・医療統計 ●化学療法・緩和医療 ●放射科学		

			<ul style="list-style-type: none"> <li>●異常値のメカニズム</li> <li>●環境科学</li> <li>●臨床心理・倫理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬理・病態Ⅱ</li> <li>●薬理・病態Ⅲ</li> <li>●薬理・病態Ⅳ</li> <li>●薬理・病態Ⅴ</li> <li>●薬理・病態Ⅵ</li> </ul>			
	実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学系基礎実</li> <li>●生物系基礎実</li> <li>●化学系応用実</li> <li>●分析系基礎実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物系応用実</li> <li>●物理系基礎実</li> <li>●物理系応用実</li> <li>●分析系応用実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬局実務実習</li> <li>●病院実務実習</li> </ul>	
	アドバンスト演習科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎化学演習</li> <li>●基礎生物演習</li> <li>●機能形態学Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習1</li> <li>●応用演習2</li> <li>●応用演習3</li> <li>●応用演習4</li> <li>●応用演習5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習10</li> <li>●応用演習11</li> <li>●応用演習14</li> <li>●応用演習15</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習18</li> <li>●応用演習19</li> <li>●応用演習20</li> </ul>		
統合型薬学教育部門						<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物治療マネジメント</li> <li>●基礎薬学総論</li> <li>●実務実習事前講義・演習</li> </ul>	●薬学特別講義
薬学アドバンスト教育部門	実践薬学科目					<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療を知る</li> <li>●セルフケア・介護</li> <li>●臨床薬局学Ⅱ</li> <li>●救命救急・院内感染予防</li> <li>●医薬品開発論</li> <li>●臨床栄養療法</li> <li>●発展キャリア形成2(化学系)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療の最前線</li> <li>●薬剤師の専門性</li> </ul>
	薬学研究科目				●薬学卒業研究基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅰ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅱ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅱ</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

行政分野で活躍  
する薬剤師をめ  
ざす

想定される具体的な進路・職種	公務員など
----------------	-------

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。薬剤師の知識を活かして、いろいろな職場を経験し実績を積み上げる公務員や、地方公務員では免許資格職として保健所や衛生研究所などで薬剤師としての業務を行う公務員をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目   ●：選択必修科目   ●：必修科目

区分	授業科目	授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教養教育部門	基軸科目	●人間と環境					
	教養教育科目	●情報活用リテシー ●心の科学 ●経営と社会 ●法と社会 ●数と論理 ●ジェンダーと社会 ●データサイエンス・AI入門 ●教養演習Ⅰ ●教養演習Ⅱ					
	語学科目	●英語中級Ⅰ（リーディング） ●英語中級Ⅰ（コミュニケーション） ●英語中級Ⅱ（リーディング） ●英語中級Ⅱ（コミュニケーション）					
	薬学準備教育科目	●基礎物理 ●基礎化学 ●基礎生物 ●薬剤師の使命Ⅰ ●薬剤師の使命Ⅱ ●薬学概論Ⅰ ●薬学概論Ⅱ ●コミュニケーション基礎 ●入門実験 ●キャリア形成					
	健康・スポーツ科学科目	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ					
専門薬学教育部門	基幹科目	●物理科学Ⅰ ●基礎有機化学  ●機能形態学Ⅰ  ●機能形態学Ⅱ ●生化学Ⅰ ●生化学Ⅱ	●物理化学Ⅱ ●有機薬化学Ⅰ  ●有機薬化学Ⅱ  ●生化学Ⅲ ●機能形態学Ⅲ ●薬学英語Ⅰ ●医薬資源化学 ●構造解析学 ●微生物学 ●分子生物学Ⅰ ●分子生物学Ⅱ ●薬局方試験法 ●薬物動態学Ⅰ ●社会保障と医療経済 ●薬の作用 ●免疫学 ●製剤学Ⅰ ●分析化学 ●薬用植物と生薬 ●身体変化のメカニズム	●有機薬化学Ⅲ ●薬学英語Ⅱ  ●製剤学Ⅱ  ●医薬品情報学 ●生物有機化学 ●製剤学Ⅱ ●医薬品情報学Ⅱ ●薬物動態学Ⅱ ●生物有機化学 ●製剤開発論 ●感染予防学 ●製剤設計学 ●公衆衛生学 ●医療法規 ●衛生化学Ⅰ ●衛生化学Ⅱ ●栄養学 ●臨床コミュニケーション ●製剤学 ●薬理・病態Ⅰ	●薬物投与設計 ●和漢医薬学 ●セルノメアイクー シオン・医療統計学 ●化子療法・緩和医療 ●放射科学		

			<ul style="list-style-type: none"> <li>●異常値のメカニズム</li> <li>●環境科学</li> <li>●臨床心理・倫理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬理・病態Ⅱ</li> <li>●薬理・病態Ⅲ</li> <li>●薬理・病態Ⅳ</li> <li>●薬理・病態Ⅴ</li> <li>●薬理・病態Ⅵ</li> </ul>			
	実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>●化学系基礎実</li> <li>●生物系基礎実</li> <li>●化学系応用実</li> <li>●分析系基礎実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物系応用実</li> <li>●物理系基礎実</li> <li>●物理系応用実</li> <li>●分析系応用実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬局実務実習</li> <li>●病院実務実習</li> </ul>	
	アドバンスト演習科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎化学演習</li> <li>●基礎生物演習</li> <li>●機能形態学Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習1</li> <li>●応用演習2</li> <li>●応用演習3</li> <li>●応用演習4</li> <li>●応用演習5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習10</li> <li>●応用演習11</li> <li>●応用演習14</li> <li>●応用演習15</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●応用演習18</li> <li>●応用演習19</li> <li>●応用演習20</li> </ul>		
統合型薬学教育部門						<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物作用メカニズム</li> <li>●基礎薬学総論</li> <li>●実務実習事前講義・演習</li> </ul>	●薬学特別講義
薬学アドバンスト教育部門	実践薬学科目					<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療を知る</li> <li>●セルフケア・介護</li> <li>●臨床薬局学Ⅱ</li> <li>●救命救急・院内感染予防</li> <li>●医薬品開発論</li> <li>●臨床栄養療法学</li> <li>●発展キャリア形成2(化学系)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療の最前線</li> <li>●薬剤師の専門性</li> </ul>
	薬学研究科目				●薬学卒業研究基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅰ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬学卒業研究Ⅱ</li> <li>●薬学卒業応用演習Ⅱ</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。



薬学研究分野で活躍する薬剤師をめざす

想定される具体的な進路・職種 大学院博士課程 学生

薬学部では全国薬系大学で定められている薬学教育モデル・コアカリキュラムを基本として幅広い知識を身に付けるためのカリキュラムを編成しています。薬剤師倫理教育科目・薬学準備教育科目・基礎薬学教育科目・薬学専門教育科目・統合型薬学教育科目・実務実習教育科目・薬学研究教育科目・語学（英語）教育科目を学習することによって、薬学の確かな知識・技能と豊かな人間性と倫理観を身に付けます。薬学部大学院博士課程への進学、あるいは他大学の大学院博士課程へ進学し、将来において大学での教育・研究職、研究所研究職、製薬会社での研究・開発職をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	基軸科目	授業科目					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教養教育部門	基軸科目	●人間と環境 ●情報活用ツテフ シ ●心の科学 ●経営と社会 ●法と社会 ●数と論理					
	教養教育科目	●ジェンダーと社会 ●データサイエンス ●AI入門 ●教養演習Ⅰ ●教養演習Ⅱ					
	語学科目	●英語中級Ⅰ（リーディング） ●英語中級Ⅰ（コミュ） ●英語中級Ⅱ（リーディング） ●英語中級Ⅱ（コミュ）					
	薬学準備教育科目	●基礎物理 ●基礎化学 ●基礎生物 ●薬剤師の使命Ⅰ ●薬剤師の使命Ⅱ ●薬学概論Ⅰ ●薬学概論Ⅱ ●コミュニケーション ●基礎 ●入門実験 ●キャリア形成					
	健康・スポーツ科学科目	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ					
専門薬学教育部門	基幹科目	●物理科学Ⅰ ●基礎有機化学  ●機能形態学Ⅰ  ●機能形態学Ⅱ ●生化学Ⅰ ●生化学Ⅱ	●物理化学Ⅱ ●有機薬化学Ⅰ  ●有機薬化学Ⅱ  ●生化学Ⅲ ●機能形態学Ⅲ ●薬学英語Ⅰ ●医薬資源化学 ●構造解析学 ●微生物学 ●分子生物学Ⅰ ●分子生物学Ⅱ ●薬局方試験法 ●薬物動態学Ⅰ ●社会保障と医療経済 ●薬の作用 ●免疫学 ●製剤学Ⅰ  ●分析化学 ●薬用植物と生薬 ●身体変化のメカニズム ●異常値のメカニズム ●環境科学 ●臨床心理・倫理学	●有機薬化学Ⅲ ●薬学英語Ⅱ  ●製剤学Ⅱ  ●医薬品情報学 ●生物有機化学 ●製剤学Ⅱ ●医薬品情報学 ●薬物動態学Ⅱ ●生物有機化学 ●製剤開発論 ●感染予防学 ●製剤設計学 ●公衆衛生学  ●医療法規  ●衛生化学Ⅰ ●衛生化学Ⅱ ●栄養学 ●臨床コミュニケーション ●製剤学  ●薬理・病態Ⅰ  ●薬理・病態Ⅱ  ●薬理・病態Ⅲ ●薬理・病態Ⅳ ●薬理・病態Ⅴ	●薬物投与設計 ●和漢医薬学 ●ヒルノメファイ ケーション・医療 統計 ●分子療法・緩和 医療 ●放射科学		

	実習科目群		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化学系基礎実習</li> <li>● 生物系基礎実習</li> <li>● 化学系応用実習</li> <li>● 分析系基礎実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬理・病態VI</li> <li>● 生物系応用実習</li> <li>● 物理系基礎実習</li> <li>● 物理系応用実習</li> <li>● 分析系応用実習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬局実務実習</li> <li>● 病院実務実習</li> </ul>	
	アドバンスト演習科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎化学演習</li> <li>● 基礎生物演習</li> <li>● 機能形態学 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応用演習 1</li> <li>● 応用演習 2</li> <li>● 応用演習 3</li> <li>● 応用演習 4</li> <li>● 応用演習 5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応用演習10</li> <li>● 応用演習11</li> <li>● 応用演習14</li> <li>● 応用演習15</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応用演習18</li> <li>● 応用演習19</li> <li>● 応用演習20</li> </ul>		
統合型薬学教育部門						<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬物治療マネジメント</li> <li>● 基礎薬学総論</li> <li>● 実務実習事前講義・演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬学特別講義</li> </ul>
薬学アドバンスト教育部門	実践薬学科目					<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療を知る</li> <li>● セルフケア・介護</li> <li>● 臨床薬局学 II</li> <li>● 救命救急・院内感染予防</li> <li>● 医薬品開発論</li> <li>● 臨床栄養療法</li> <li>● 発展キャリア形成 2 (化学系)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療の最前線</li> <li>● 薬剤師の専門性</li> </ul>
	薬学研究科目				● 薬学卒業研究基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬学卒業研究 I</li> <li>● 薬学卒業応用演習 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬学卒業研究 II</li> <li>● 薬学卒業応用演習 II</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。